

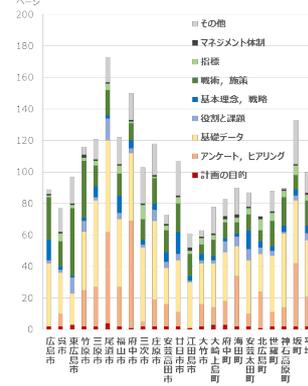
地域交通の計画・マネジメントの実態・課題に関する調査・研究

伊藤ゆうき・神田佑亮 (呉工業高等専門学校), 唐木田啓伍 (九州大学), 鈴木春菜 (山口大学)

背景・目的

- 地域交通法の改正(2023)
 - 地域交通を地域づくりとの一体的なマネジメントがより一層求められるようになった(1,021件の地域公共交通計画策定(R6.3末))
- 一方で、地域交通の現場のマネジメントでは、課題が多々
 - 計画の策定には非常に労力が必要であるにもかかわらず、十分な議論やマネジメントがなされていない地域が多い点
 - 計画策定やマネジメントを支える専門家の数が絶対的に不足
- ただし、現状このような問題の程度はあまり整理されておらず

▼地域交通計画の構成とページ数



▼平均ページ数

項目	ページ数	比率(%)
計画の目的	2.1	2.1
アンケート・ヒアリング	18.8	18.9
基礎データ	35.9	36.0
役割と課題	4.4	4.4
基本理念・戦略	5.1	5.1
戦術・施策	15.6	15.7
指標	3.6	3.7
マネジメント体制	1.2	1.2
その他	12.9	12.9

【目的】

- 地域交通マネジメントの現状の課題を論考 (アンケート調査・分析を実施)

分析方法

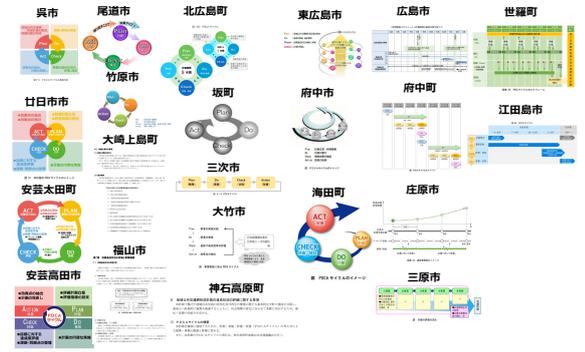
- 中国地方の基礎自治体 (107市町村) にアンケート調査を実施

・質問項目

- 計画策定の実態
 - 計画策定のプロセス (策定期間など)
 - 最近策定された計画の内容
 - 計画の構成に対する考え
 - 計画策定に関与している方とその関わり方
 - 法定協議会の会議内容
- 自治体の属性
 - 都道府県名
 - 人口規模
 - 交通政策に関与されている方の経年数、職種別的人数
- 計画策定後の実態
 - 計画策定後のマネジメント
 - 計画策定後の事業費

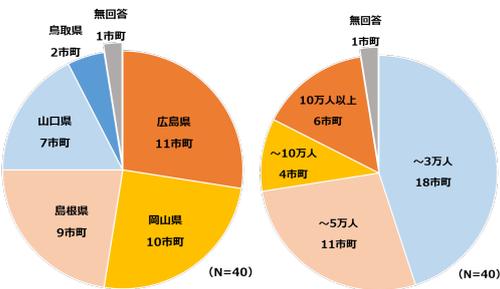
回答：40通/107自治体 (回収率37%)

▼マネジメント体制項目に記載されている図

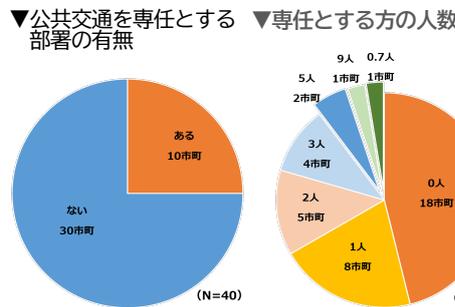


集計・分析結果

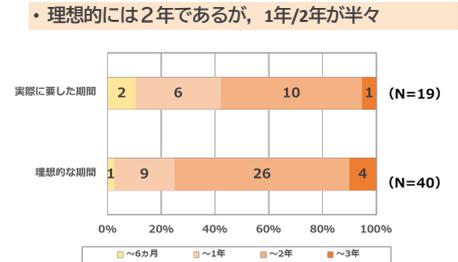
▼回答自治体の属性



▼担当者の状況

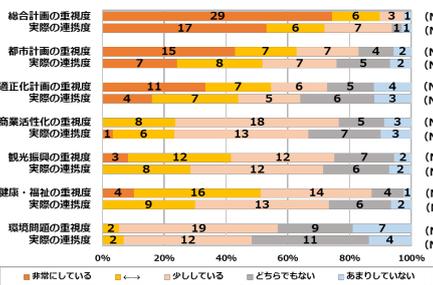


▼計画策定に要した期間と理想的な期間



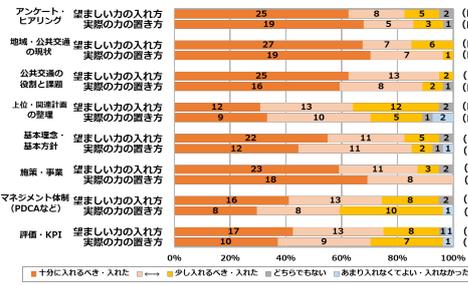
▼他分野との連携重視度、実際の計画の状況

- 他の分野との連携が十分と言えない



▼計画の各項目への力の入れ方、実際の力の置き方

- アンケート・ヒアリング, 現状把握, 施策にウエイト



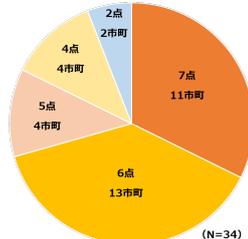
▼計画の進捗管理で定められている項目の記載状況

- マネジメント関連項目での内容の記載が薄め



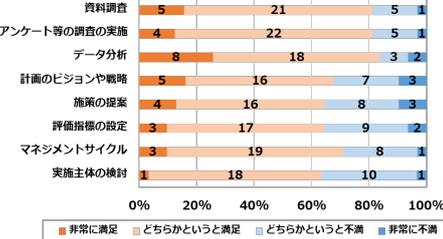
▼学識経験者への満足度 (7点満点)

- 有識者の満足度が低いケースも



▼コンサルタント会社に対する評価 (項目別)

- データ分析の評価は高いが、計画の核心部は低め



まとめ

- 自治体の人的・質的な不足
- 他の分野との連携やまちの発展への関与が不十分
- 現状分析により多く力が置かれており、本来の計画策定に対してリソースが振られていない

提言

- 「交通」が地域を活性化させる手段という認識の普及
- 具体的なビジョンの策定
- 計画の力点の置き方の変換 (現状分析→ビジョン)
- マネジメント体制の具体化
- 専門家の更なる支援の拡充
- ビジョン・戦略の解説に重点を置いた手引きの作成